

# [参考]日本におけるデジタル本人確認の保証レベルの分類と手法例の議論

## 「サービスに応じたデジタル本人確認ガイドラインの検討」

デジタル庁  
トラストを確保したDX推進サブワーキンググループ(第4回)

令和4年1月25日(火)16:30~18:15

肥後 彰秀 様 プレゼン資料(抜粋)

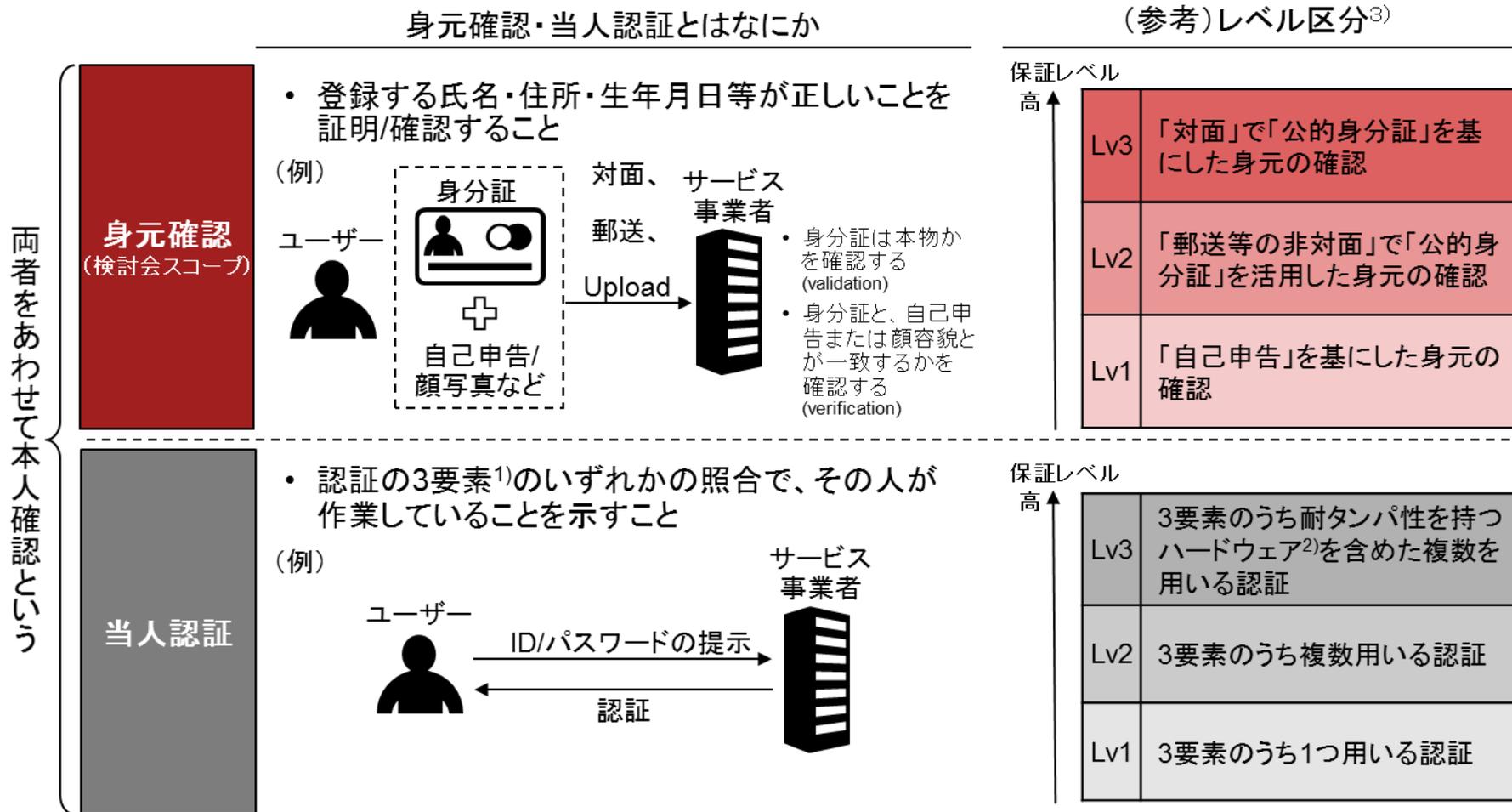
全文はこちら

[https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/093e09a7-2ffe-4a41-971a-5c0dcfd3c0b3/20220125\\_meeting\\_trust\\_dx\\_02.pdf](https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/093e09a7-2ffe-4a41-971a-5c0dcfd3c0b3/20220125_meeting_trust_dx_02.pdf)



# オンラインの本人確認は身元確認と当人認証からなる

## 身元確認と当人認証の違い



1) 認証要素は「生体」(顔・指紋など)・「所持」(マイナンバーカードなど)・「知識」(パスワードなど)に分かれる

2) マイナンバーカードなど、内部の情報に対する不正な読み出しが困難である物理装置

3) 「行政手続におけるオンラインによる本人確認の手法に関するガイドライン」(2019年2月CIO連絡会議決定)のレベル区分

# 本人確認の現状

レベル分表作成についての参考：デジタル本人確認の保証レベルと手法例の根拠

IAL・AALのいずれかのレベルが低ければ、本人確認手法のレベルも下がることから、サービスリスクに応じてIAL・AALを選択する必要がある

## 身元確認と当人認証の保証レベル

必要な保証レベル		オンラインによる手法例
IAL	AAL	
レベル3 対面での身元確認	レベル3 耐タンパ性が確保されたハードウェアトークン	レベルA
レベル2 遠隔又は対面での身元確認	レベル2 複数の認証要素	レベルB
レベル1 身元確認のない自己表明	レベル1 単一又は複数の認証要素	レベルC



	AAL 1	AAL 2	AAL 3
IAL 3		レベルB	レベルA
IAL 2		レベルB	
IAL 1	レベルC		

出所：各府省CIO連絡会議(2019)「行政手続きにおけるオンラインによる本人確認の手法に関するガイドライン」より作成

# 本人確認の現状 本人確認手法について

本人確認手法をマトリクスに配置したところ「レベルB」に集中しており、法令内でもばらつきがみられる。

		当人認証レベル (AAL)			
		認証なし	レベル1 単要素認証	レベル2 2要素認証	レベル3 2要素認証 (耐タンパを含む)
身元確認レベル (IAL)	レベル3 対面確認				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯収法ワ (犯収法規則6条1項1号)</li> <li>・ 公的個人認証</li> </ul>
	レベル2 郵送・リモート確認		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的身分証以外の身分証のアップロード</li> <li>・ 公的身分証のアップロード</li> <li>・ 犯収法ホ (犯収法規則6条1項1号)</li> <li>・ 口座連携(犯収令13条1項1号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的身分証以外の身分証のアップロード</li> <li>・ 公的身分証のアップロード</li> <li>・ 犯収法ホ (施行規則6条1項1号)</li> <li>・ 口座連携(犯収施行令13条1項1号) (※1)</li> <li>・ 身元確認のAPI連携(銀行API/キャリアAPI) (※1)</li> <li>・ 犯収法へ (犯収法規則6条1項1号)</li> <li>・ 犯収法ヲ (犯収法規則6条1項1号)</li> <li>・ 民間APIサービスB (※1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯収法へ (犯収法規則6条1項1号)</li> <li>・ 犯収法ヲ (犯収法規則6条1項1号)</li> <li>・ 身元確認のAPI連携(キャリアAPI) (SIM利用) (※1)</li> </ul>
	レベル1 自己申告		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身分証に基づかない自己申告での登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身分証に基づかない自己申告での登録</li> </ul>	

凡例

レベルC

レベルB

レベルA

※1 アカウント作成後は身分証不要

# 本人確認の現状 オンラインサービスにおける本人確認について

本人確認を実施しているオンラインサービスがについてもマトリクスの「レベルB」に集中。

【課題】 自社サービスに応じた適切な本人確認手法を選択するためには、レベルに応じた細分化が必要

		当人認証レベル (AAL)			
		認証なし	レベル1 単要素認証	レベル2 2要素認証	レベル3 2要素認証 (耐タンパを含む)
身元確認レベル (IAL)	レベル3 対面確認			<ul style="list-style-type: none"> <li>古物商A (※1)</li> <li>犯収法の特定事業者 (※1)</li> <li>携帯電話事業者 (※1)</li> <li>シェアリングエコノミーA社 (※2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯収法の特定事業者</li> <li>携帯電話事業者 (※1)</li> <li>電子サインA (※1)</li> </ul>
	レベル2 郵送・リモート確認		<ul style="list-style-type: none"> <li>マッチングアプリ</li> <li>シェアリングエコノミーB社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯収法の特定事業者 (※1)</li> <li>携帯電話事業者 (※1)</li> <li>古物商B (※1)</li> <li>シェアリングエコノミーB社 (※2)</li> <li>マッチングアプリ (※3)</li> <li>たばこ会員登録 (※3)</li> <li>公営ギャンブル (※3)</li> <li>eMAFFプライム (オンライン本人確認) (※4)</li> <li>gBizプライム (郵送) (※4)</li> <li>引越し (※4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子サインA (※1)</li> <li>口座開設 (ネット完結) (※2)</li> <li>たばこ会員登録 (※3)</li> <li>公営ギャンブル (※3)</li> </ul>
	レベル1 自己申告		<ul style="list-style-type: none"> <li>gBiz・eMAFF (エントリー)</li> <li>電子サインC (※1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子サインB (※1)</li> </ul>	

凡例

レベルC

レベルB

レベルA

※1 法令に基づく

※2 自主的取組

※3 自主的取組 (年齢確認のみ)

※4 行政